

祝 辞



京都府知事 山田 啓二

このたび、京都府立山城高等学校が創立百年という記念すべき年を迎えましたことを、心からお祝い申し上げます。

山城高校は、明治四十（一九〇七）年三月、京都府立第五中学校として創立して以来、大正七（一九一八）年に府立京都第三中学校と改称、その後、学制改革により昭和二十三（一九四八）年に現在の府立山城高等学校となりました。この間、長きにわたって生徒の学力向上や部活動などにおいて輝かしい実績を残しました。また、夜間中学や定時制課程、商業科を設置されたり、昭和四十六（一九七二）年より聴覚障害者を受け入れ、健常者と同じ教室で共に学ぶ聴覚障害教育が展開されるなど、地域や時代のニーズに応じた多様な教育に取り組んでこられました。

この百年の歴史において、卒業生は約三万五千人を数え、京都市内はもちろんのこと、国内外を問わず、政界、法曹界、医学、教育・研究、スポーツなどの多様な分野に有為な人材を輩出されてこられました。その人脈は、京三中・山城高同窓会として組織され、今日の山城高校の教育活動にさまざまな御支援、御協力を賜っておりますことに、深く感謝を申し上げます。

今日の学校教育は、国際化、情報化などに伴う著しい社会の変化により、さまざまな教育改革が求められており、大きな転換期を迎えております。京都府においては、『人・間中心』の京都づくりを基本視念に据え、『学びと育みの京都』の実現に向けて、多様な個性や能力を伸ばすための特色ある高校教育の推進をはじめ、さまざまな施策に積極的に取り組んでおります。山城高校におかれましても、先輩諸氏が積み重ねられました学校創立百年の歴史と伝統を継承し、時代の変化を読み取って、総意と工夫による学校改革を推し進め、昨年しゅん工した新しい学習でさまざまな特色ある教育を意欲的に展開していただきたいと思っています。

結びにあたり、京都府立山城高等学校が、創立百年を契機として、本府高校教育の向上と京都の将来を担う人材育成に一層貢献され、京都の教育に引き続き中心的な役割を発揮されとともに、京三中・山城高同窓会のますますの御発展を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。